

3月定例会 個人質問

角田訓也議員

企業誘致について

議員 本市周辺の企業に対し意見を聞きながら、オーダーメードで本市への誘致を推進できなかつた。市長 提案いただいたようなことも踏まえて、調査研究していきたい。

広域連携について

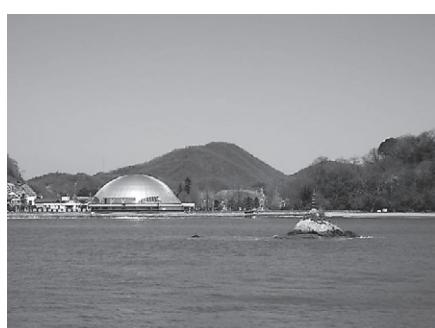
議員 平成22年6月定例会で、福山市との交流・情報交換について質問したが、その後、どのように進捗しているのか。

市長 新たな観光ルートの設定などについて、福山市の観光協会と情報交換を行つてゐる。雇用に関しては、福山市と井笠地域の企業の就職面接会を昨年12月に実

施している。また、昨年の暮れには、福山市・井原市・笠岡市の広域連携担当による情報交換会の場を持つた。それぞれの市長の会議といふようなものについても、対応していかなければならぬと考えてゐる。

カブトガニ博物館について

土地開発公社による大殿洲の取得は年次的に行われていたが、この数年は取得を休止している。現在までに取得した土地に対して、方向性を修正する必要があるのではないか。教育長の考え方をたずねる。



カブトガニ博物館

ができるかというのを、今後2、3年のうちに検討したいと思っている。

教育長 残つた部分を今後取得していくという計画は今のところは持つていない。ができるかというのを、今後2、3年のうちに検討したいと思っている。

議員 大殿洲の未買収地については今後どのように考

えているのか。

ほかに★ミズノオーブンの関わり★庁舎内のパソコンのOS★小中一貫教育★原付バイク・小型自動二輪車のご当地デザインナンバープレートについて質問しました。

馬越裕正議員

今後の笠岡市の政策立案について

議員 これから的地方自治

体は、地域独自・自治体独自の政策で、陳情型から政策提案型行政への転換を図りつつあるところが全国的に出てきつつある。

市民との政策立案会議の開催の可能性及び議会との政策議会開催の可能性についてたずねる。

市長 市民との政策立案会議の施行ができるという結論には至っていない。いろいろな手法を加えてそれ

議だが、まちづくり協議会が機能するようになると、地域の課題が明らかになり、市民と行政とが協働して課題解決に取り組むようにな

っていく。そして、協議会が成熟してくれば、おのず

から市民との政策立案会議に発展していくものと期待している。議会との政策立案会議については、議会基本条例制定に向けた議論の中で、議会と行政との政策立案会議の必要性が高まってくれば、開催を検討したいと思っている。

道の駅「笠岡ベイファーム」について

議員 道の駅「笠岡ベイフ

ーム」は、8月4日のオープンに向けて着々と準備が進んでいる。万が一事故等があつたときの最終責任（訴訟相手）は笠岡市か。

また、野菜等の安全管理体制はどうなるのか。

市長 「笠岡ベイファーム」は、公の施設として市の財